

事業報告書

令和5年4月1日より令和6年3月31日まで

公益社団法人 全日本書道連盟

公益目的事業1

書道に関する講演・講習会事業および地域書道団体に対する助成金給付事業

1. 講演・講習会事業

(1) 夏期書道大学講座

日 時 令和5年8月4日(金)～8月6日(日)

会 場 東京都豊島区東池袋 サンシャインシティ・コンファレンスルーム

受講者数 259名(3日間延べ)

講座内容／講師(本連盟役員が担当)

8月4日 篆書・隸書 中村 伸夫 理事 / 行書・草書 宮負 丁香 理事

8月5日 か な 岩井 秀樹 評議員 / 漢字かな交じり書 船本 芳雲 顧問

8月6日 刻 字 薄田 東仙 常務理事

(2) 書写書道教育講演会

日 時 令和5年6月1日(木)

会 場 東京都台東区上野公園 上野精養軒・桐の間

聴講者数 115名

演 題 「学校教育における書写指導の今とこれから」

講 師 横浜国立大学 教授 青山 浩之 氏

山梨大学 准教授 清水 文博 氏

コーディネーター 東京学芸大学 教授 加藤 泰弘 氏

(3) 書道講演会

日 時 令和5年11月20日(月)

会 場 東京都港区六本木 国立新美術館・講堂

聴講者数 257名

演題／講師 「源氏物語と紫式部の書道観」

中央大学 名誉教授

公益財団法人五島美術館 理事 池田 和臣 氏

(4) ワークショップへの講師派遣

地域や施設等の要望により、書道実技講師を派遣した。講師は本連盟事務局委員および事務局が担当した。

一般社団法人 日本のおどり文化協会「再発見ニッポンの伝統」伝統文化体験ワークショップ

① 令和5年12月26日(火) 千葉県流山市 流山市生涯学習センター

飯田 桂子 氏 熊谷 咸集 氏 佐藤 萊扇 氏 山田 梨香 氏

- ② 令和5年12月27日(水) 埼玉県越谷市 越谷サンシティホール
大塚万衣華氏 能美 翠桂氏 宮下 翠逕氏 飯田 善一氏
- ③ 令和6年 1月 6日(土) 東京都江戸川区 タワーホール船堀
大塚万衣華氏 熊谷 咸集氏 駒崎 流芳氏 林 彩華氏

(5) 書写書道教育確立のため、資料収集ならびに調査研究を続けている

2. 助成金給付事業

(1) 助成事業

全国書道団体の活性化、書道文化ならびに書写書道教育の充実発展に繋げることを目的とし、都道府県、市区町村等の単位で組織される書道団体が主催する講演会、講習会等の事業運営に対して助成した。

○第48回全日本高等学校書道教育研究会茨城大会【関東ブロック開催】

日 時 令和5年11月9日, 10日

会 場 ザ・ヒロサワ・シティ会館(茨城県水戸市)

主催団体 全日本高等学校書道教育研究会

○全日本書写書道教育研究会第63回全国大会(東京)

日 時 令和5年11月17日, 18日

会 場 武蔵野大学

主催団体 全日本書写書道教育研究会

(2) 展覧会、講習会、講演会などの事業に対する後援 149件

会員(維持団体、賛助団体、正会員、準会員)が主催に加わる事業に対し、無料で後援している。

公益目的事業2

日本赤十字社への募金による社会活動への協力奉仕

(1) 助けあい募金

社会事業に役立てていただくべく、団体会員(維持団体・賛助団体)を主な対象とし、募金をお願いした。

募金協力件数 119件 募金総額 183万円

本会計から加算して200万円とし、日本赤十字社へ「事業資金」として寄託した。

相互扶助事業1

書写・書道教育推進協議会への協力事業、日本書道ユネスコ登録推進協議会への協力事業、福利厚生事業、会報発行事業

(1) 書写・書道教育推進協議会

同協議会構成6団体のひとつで、協議会事務局として活動に協力した。

学校教育において書写・書道の授業が確実に、充実した内容で実施されるよう、平成 26 年から活動が続けている。

(2) 日本書道ユネスコ登録推進協議会

同協議会発起 3 団体のひとつとして、活動に協力した。

「日本の書道文化」が、国際連合教育科学文化機関（＝ユネスコ）の、「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表（＝代表一覧表）」に記載されることを目的として、平成 27 年から推進運動を続けている。

(3) 文芸美術国民健康保険組合への加入

本連盟は昭和 31 年より同国保に団体加入しており、連盟会員で、かつ書に専従する方を対象に、同国保加入の斡旋をしている。

連盟を通じて組合に加入しているもの（令和 6 年 3 月 31 日現在）

組合員	65 名	（前期比 －14 名）
家 族	51 名	（ 同 － 4 名）
合 計	116 名	（ 同 －18 名）

カッコ内は、令和 4 年度末（令和 5 年 3 月末）との比較。

書に専従していることの確認徹底、また後期高齢者医療制度により満 75 歳になると国保へ移らねばならないこともあり、加入者は減少傾向にある。

(4) 会報の発行 3 回（第 168 号～170 号）

そ の 他

(1) 令和 6 年 3 月 31 日現在の本連盟会員数は次のとおり

正 会 員 1,659 名（前期比 －94 名）

準 会 員 48 名（ 同 － 3 名）

維持団体 16 団体（ 同 変わらず）

賛助団体 152 団体（ 同 － 1 団体）

カッコ内は、令和 4 年度末（令和 5 年 3 月末）との比較。

(2) 役員会開催 理事会 4 回（第 185 回～第 188 回）